

第10回加賀温泉駅施設整備検討委員会（市民説明会）における意見及び回答

開催日時 令和元年11月28日（木）午後1時30分から

場 所 加賀市民会館大ホール

加賀温泉駅において、加賀市が整備する各施設に対しての検討委員及び参加者の意見を表にまとめました。（Q：意見、質疑、A：事務局の回答）

<広場、都市施設>

（検討委員）

Q1	ガレリア前には雪吊りができる木を植えてほしい。
A1	北陸の冬を感じられるように雪吊りができる樹種も検討する。
Q2	バスエリア内は一方通行なのか。
A2	時計回りに一方通行となる。
Q3	駅周辺商業施設の外壁の色調を、新幹線駅舎に合わせて一体感を出してほしい。
A3	商業施設の管理者と協議する。
Q4	地下自由通路のエレベーターなどはバリアフリーに対応しているのか。
A4	バリアフリーの基準に沿って設計する。
Q5	ガレリア（屋根施設）の外周の壁は開放されているのか。
A5	全天候型広場としてガレリアを建築するので、基本的には開放する。なお、冬場については防風スクリーンなどを設置し風対策を行う。
Q6	インスタ映えするスポットをつくって欲しい。
A6	ガレリア前に整備する庭園がインスタ映えする場所となると考えている。
Q7	駅前の各交通エリアに向かう通路に屋根はあるのか。
A7	歩行者用通路には屋根があり、雨に濡れずに移動できるようになっている。
Q8	コロネードでは横殴りの雨で濡れたりしないようにしてほしい。
A8	防風スクリーンを設置して対応する。
Q9	一般車駐車場の出口は県道側のみなのか。
A9	信号のある（加賀温泉駅前）交差点からなら左右どちらにも出やすいため出口は県道側のみとした。

Q10	高架下都市施設内の壁面に掲示物などを無秩序に張って見苦しくならないようにしてほしい。
A10	掲示物用のスペースを決めて掲示するなど美感に配慮する。
Q11	待合室のベンチは、背もたれのあるくつろげるものにして欲しい。
A11	待合室はベンチの使用も含めて、くつろぐことができる空間となるよう設計する。
Q12	九谷焼、山中漆器を使うことになると思うが、メンテナンスも考えて、地元のものを使って欲しい。
A12	各組合と相談しながら、地元のを多く使うよう検討する。
Q13	海外からの観光客に対応する為、大型のキャリーケースが入るコインロッカーを整備して欲しい。
A13	将来の需要を考慮して、コインロッカーを整備する。
Q14	ガレリアをイベントが出来る施設としているが、音響や垂れ幕など、各種イベントが出来るように設備の設計を考えて欲しい。
A14	想定されるイベントに対応できるよう設備設計を行う。
Q15	バス・タクシー・一般車の増加を想定して駐車場などが大きくなっているが、出入りが集中しすぎないのか心配になる。
A15	ラウンドアバウト(環状交差点)は環状内に車両が走っていなければ随時進入でき、信号よりも柔軟な対応ができる。将来的な交通需要を予測し、問題ないと判断した。
Q16	積雪の対策はどうするのか。
A16	来年度に具体的な設計を進め、車道は全て消融雪装置を設置する予定となっている。また、積雪量によっては機械除雪も視野に入れて計画する。
Q17	レンタサイクルについて、観光案内所との連携が取れるような動線に配慮してほしい。
A17	レンタサイクルを利用する観光客をスムーズに誘導できるように、サイン等の案内誘導に配慮する。

(参加者)

Q1	ガレリアの耐用年数はどれくらいを想定しているのか。木造だと30年くらいだと思うが、その後のメンテナンスはどう考えているのか。
A1	木造部分には直接雨風は受けないため、適切に管理を行えば100年でも大丈夫だと考えている。
Q2	ガレリア天井部に鳥の巣などは想定しているのか。
A2	金沢駅などの事例を基に鳥の巣対策を進める。
Q3	高架下都市施設の通路が狭いのではないかと感じる。
A3	通路幅は4m以上あり、キャリーケースを持っている人の交差でも問題ない。高架下の整備範囲はJR西日本と協議した結果この範囲となった。
Q4	山中の総湯ではコインロッカーに小学生の絵を蒔絵にして装飾をしている。伝統工芸の活用をしてほしい。
A4	維持管理の問題も含めて検討する。
Q5	加賀温泉駅なのに、温泉の雰囲気を感じられない。
A5	実施設計を進める中で、内装などに工夫していきたい。
Q6	高架下都市施設において、観光客以外の利用はどのように考えているのか。
A6	今回はハード面が主となっているが、今後施設をどのように利用していくかというソフト面での検討も必要だと考えており、今後色々な意見を頂きたい。
Q7	ガレリア内でのイベントはどの程度の規模まで考えているのか。中高生のプラスバンドなども可能なのか。
A7	設備的な部分は検討中だが、プラスバンドなどの演奏会もできるよう検討する。
Q8	ガレリアのオープニングセレモニーはどのようなものを考えているのか。
A8	完成まで3年以上あるので、現時点では考えておらず今後検討する。
Q9	高架下の施設は、観光関係ばかりだが、市民が使えるような施設として欲しい。
A9	駅前広場内のガレリアと同様に、高架下においても市民が利用できるように、ソフト事業にこれから注力していきたい。

<県道緑地>

(検討委員)

Q1	県道沿いの樹木で駅が見えなくなるのではないか。
A1	近づくとつれて徐々に駅舎が見えてくるというシーンを描いている。
Q2	観音様の見え方はどうなるのか。
A2	ラウンドアバウト付近まで近づくと、新幹線駅舎の陰となり見えなくなる。

(参加者)

Q1	ギャラリー前の緑地については、斬新なものをお願いします。
A1	皆様から意見をいただきながら検討を進める。
Q2	緑地帯に植樹は不要。管理できない。
A2	緑地帯は良好な景観を形成するものとして、また木陰は夏の日除け等に必要である。極力維持管理費が掛からないよう計画する。
Q3	ラウンドアバウトは出入口が5か所あり、混雑することにならないか。
A3	ラウンドアバウトは信号が無く、環状内に車両が走っていなければ随時進入可能となっており、円滑な交通の流れが確保できる。
Q4	県道は2車線の計画だが、3車線は必要と思う。
A4	予測した将来交通量を基に、2車線で計画している。